

25年ぶりにレーダ用大型パラボラアンテナの交換を行います。

国土交通省山形河川国道事務所では、老朽化している白鷹山雨雪量観測レーダ設備の更新を進めております。

白鷹山雨雪量観測レーダは、国土交通省で管理する全国26箇所の雨雪量観測レーダの1つで、昭和63年の開設以来、リアルタイムで広域的な雨雪量の観測を行うことにより迅速な情報提供を行っておりますが、設備が老朽化していることから設備の更新工事を行っているものです。

なお、11月11日(月)には、普段、レドーム内に收容され見えない大型パラボラアンテナ(直径5m)の交換作業を25年ぶりに行います。

新しい雨雪量観測レーダは、設備設置後の観測データの確認を行った後、平成26年の6月中旬に運用開始の予定であり、引き続き雨雪量の迅速・適切な情報提供、洪水予測及び河川管理・道路管理などに活用します。

集 合 日 時	平成 25 年 11 月 11 日 午前 9 時 30 分 (ただし、天候により作業を延期することがあります。)
集 合 場 所	山形県西置賜郡白鷹町大字中山地内 白鷹町営スキー場
実 施 場 所	山形県西置賜郡白鷹町大字萩野地内 国土交通省 白鷹山レーダ雨雪量観測所
実 施 内 容	当日は、地上高32.7mの高さに口径5mのパラボラアンテナ及び口径8.2mの球体レドームをクレーンにより据付作業を行います。

《注意事項》

白鷹山レーダ雨雪量観測所への管理用通路が狭く、また、駐車スペースが十分確保できないため、報道関係者のみ対象としておりますのであらかじめご了承ください。
また、取材を希望する関係者の方は、あらかじめご連絡をお願いします。

<発表記者会：山形県政記者クラブ>

お問い合わせ先

国土交通省 山形河川国道事務所

TEL 023-688-8948

FAX 023-688-8394

防災課長
防災課 専門官

八城 光寿
佐々木 務

白鷹山気象観測レーダ

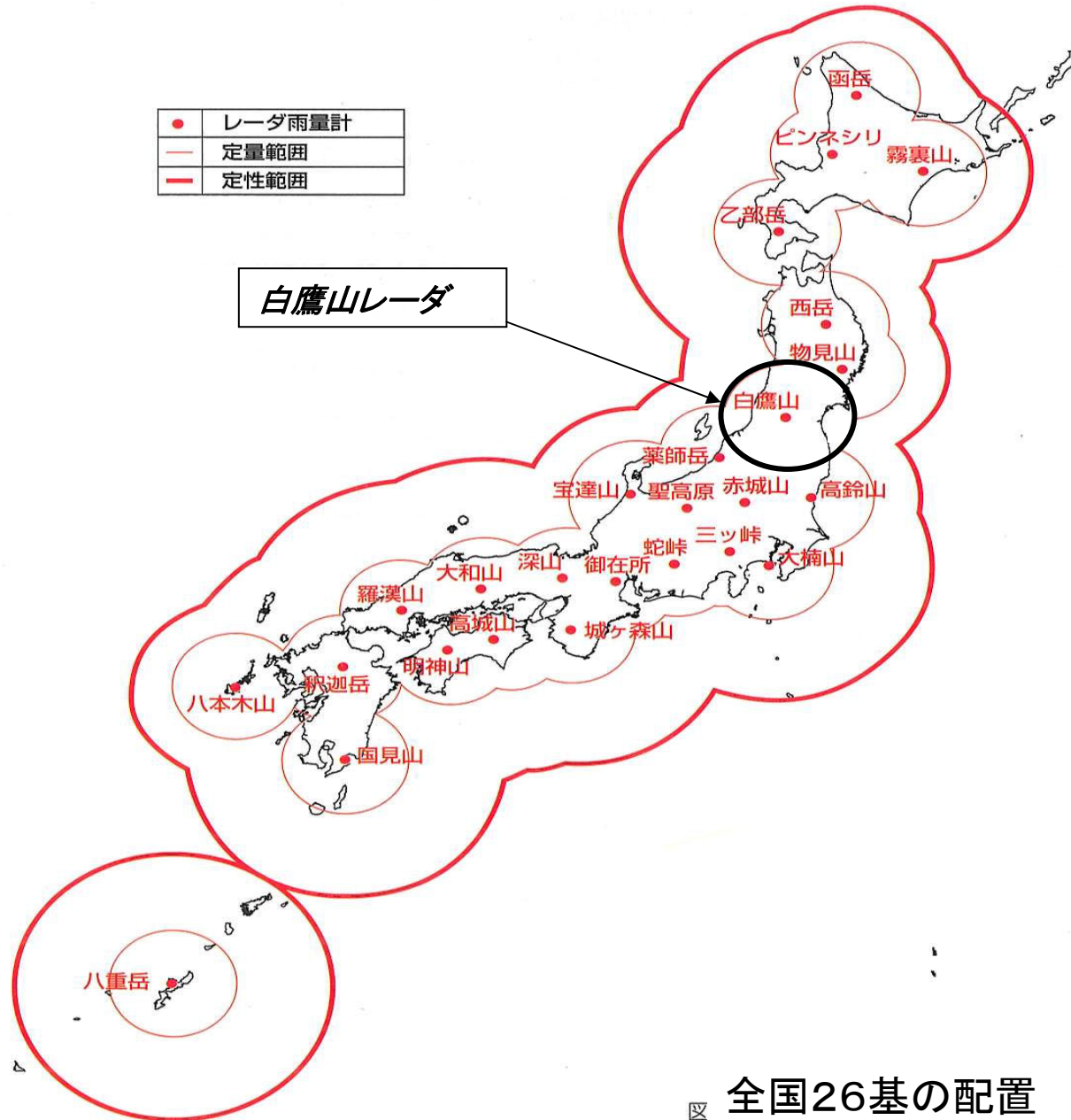


白鷹山レーダ雨量計サイト

集合場所及び実施場所



全国のレーダの配置図



レーダー雨雪量計の利用とはたらき

レーダーアンテナを1分間に5回転させ、電波を雨や雪に向け発射。電波は雨や雪にあたり反射して返ってきます。
 (大きな雨粒や雪にあたれば強い反射波(エコー)となりますが、雷は風で消されやすいので雨量よりも正確さが劣ります。)



基地局



エコーの強弱からレーダー方式により観測範囲内の雨雪量強度を求めます。

処理局



合成処理配信局



避難誘導

土砂災害
情報



国末局

財河川情報センター(仙台センター)

カラーディスプレイ装置に雨雪量情報を表示し、ダムや河川・道路などの管理に役立ちます。

県市町村等



水防警報



洪水調節



通行規制



除雪作業

河川情報

ダム情報

道路情報
(降雨)

道路情報
(降雪)

レーダー雨雪量情報の配信

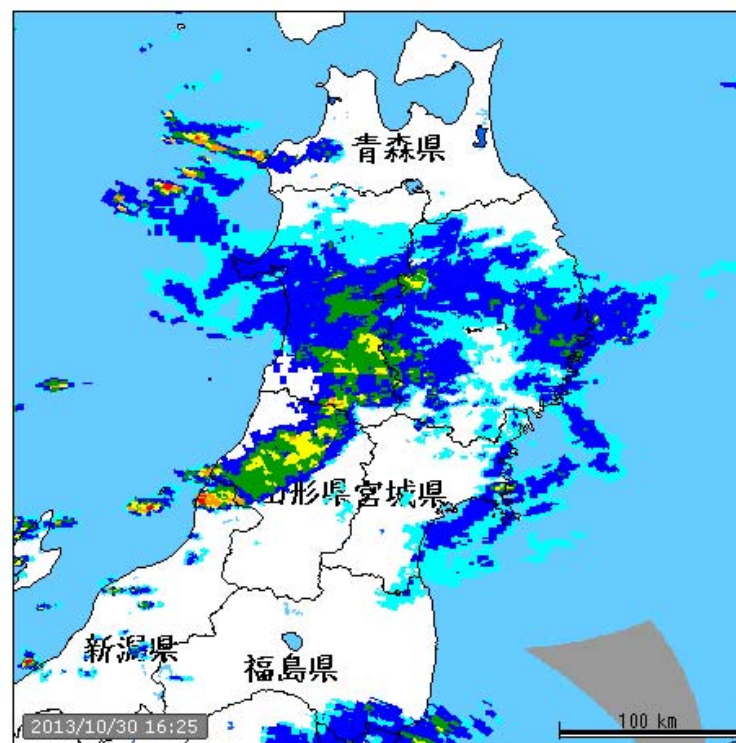
国土交通省ではインターネットによるレーダー雨雪量情報の配信を行っています。

URL: <http://www.river.go.jp/>



- レーダー雨量(履歴)
- テレメータ
雨量・水位・水質・積雪
- Q&A・問い合わせ
- Topに戻る

東北地方レーダー雨量



最新時刻 表示
時刻: 2013年10月30日 16時 25分



雨量凡例	
■	100mm/h~
■	~100mm/h
■	~50mm/h
■	~20mm/h
■	~10mm/h
■	~5mm/h
■	~1mm/h
□	0mm/h
■	欠測